

適 用 規 格					
定 格	使用温度範囲	-55℃ ～ 85℃（注1）	保存温度範囲	-10℃ ～ 60℃（注2）	
	電 圧	AC 200 V	使用湿度範囲	相対湿度 85%以下 （但し結露の無いこと）	
	電 流	1 A	保存湿度範囲		
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA（DC 又は 1000 Hz）以下で測定する。	15 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 500Vで測定する。	1000MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 650Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗：15mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 1 サイクル 5 分間 3 軸方向 各 10 サイクル試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸方向各 3 時間試験する。		○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗：15 mΩ以下 ② 絶縁抵抗：1000 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → +125℃ 時間 30 → 30分 を 5 サイクル 試験する。 （槽の移し変え時間は2～3分）		○	—
	耐熱性	温度 85℃中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗：15 mΩ以下	○	—
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。	② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	二酸化硫黄	濃度 25 ppm、25±2℃ 75±5%RH 96 時間放置する。 （試験規格：JIS C 60068）	① コネクタ機能を損なうような腐食がないこと。 ② 接触抵抗：15 mΩ以下	○	—
	塩水噴霧	濃度5%の塩水、48時間放置する		○	—
	はんだ耐熱性	はんだ槽の場合：はんだ温度 260±5℃ 浸せき時間 10±1秒間	外観の変形及び端子などに著しい ガタのないこと。	○	—
		はんだごての場合：こて温度 360℃ はんだ付け時間 5秒以内		○	—
はんだ付け性	はんだ温度 245℃±3℃、浸せき時間 2秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の95%以上が 新しいはんだでぬれていること。	○	—	
			</		